

令和8年千葉市議会第2回定例会



アートフレンズ展オープニング

4月に会派の幹事長を仰せつかり、はじめて迎える令和8年第2回定例会は、千葉市議会議場において6月8日午後1時より開会いたしました。初日は諸般の報告に続き、全国市議会議長会からの、永年勤続議員表彰並びに感謝状伝達が行われ、私も15年勤続表彰をいただきましたが、それもひとえに市民・区民の皆さまから日頃よりご指導・ご支援いただいている賜物であると感謝申し上げ、さらに気を引き締めて活動して参る所存です。

その後、会期決定、大都市制度調査特別委員長報告、防災・減災対策調査特別委員長報告と続き、神谷市長からの議案第75号から議案第85号までの上程・提案理由説明、請願第1号及び第2号の委員会付託が行われ、本会議散会後は各会派に分かれての議案研究となりました。

2日目となる9日には、正午までに議案研究を終了させることとし、午後から常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の選任について協議を行い、議会運営委員会において10日の流れ等について協議されました。10日は午後1時より議場において、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会の委員選任後、監査委員選任の議案第86号及び議案第87号審議、その後各委員会が開催され、再開後は議場において正副委員長が披露され散会となりました。

11日には議案質疑、12日には新メンバーによる各常任委員会が開催され、休会をはさんで16日からは一般質問がはじまり22日までに32名が登壇いたしました。私も一般質問の初日である16日に登壇させていただきました。

最終日の23日には、今議会の提出された議案・請願に対する委員長報告・討論・採決が行われ、議案はすべて可決、2件の請願はいずれも不採択となりました。その後、追加議案である補正予算議案第88号及び人事案件第89号から第109号までの審査が全員協議会室・議場において行われ、すべて可決・同意となり、続いて議員提出の発議審議(意見書)についても可決となりました。

令和7年度の決算議会となる令和8年第3回定例会は、市長主催の代表者会議、議会運営委員会を経て、令和8年9月7日開会となります。

元気発信！花見川！

だんぎ和彦

市議会レポート

主な役職 立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長兼倫理委員会委員長／立憲民主・無所属千葉市議会議員団幹事長／千葉市議会運営委員会副委員長／環境経済委員会委員
花見川区保護司／花見川中・花見川小・花見川小・学校評議員／花見川中学校区青少年育成委員会顧問／千葉みなとリハビリテーション病院地域評議員

かずひこ

一般質問について

今定例会では、6月16日より一般質問が開始され、その初日午前中の3番目に登壇させていただきました。テーマは「1. 資産経営について(1) 公共施設等総合管理計画について(2) 旧花見川第五小学校跡地について(3) 旧花見川第三小学校跡地について」並びに「2. 免許返納者への支援や対応について」で、一問一答方式(2回目から)で行いました。

各項目において、いくつかの質問をいたしました。その中から主な要旨と答弁について報告いたします。

1. 資産経営について

(1) 公共施設等総合管理計画について

Q 人口減少や少子高齢化の進展に伴い、公共施設等に対するニーズの変化・減少が見込まれることから、人口動態や社会情勢の変化を踏まえ、公共施設等の有効利用や再配置を進める必要がある。そのような課題を踏まえつつ、本計画の目的・意義はどのようなものか？また、今後の取り組みの方向性は？

A 本計画は公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本的な考え方を定めたもので、公共建築物・インフラ施設を含むすべての公共施設等を対象

とした10年計画であり、庁内横断的かつ将来を見据えた視点を持ちながら検討を進めるための基盤となるものと考えています。

今後は、将来にわたって利用する施設の超長寿命化の取り組みや施設の包括管理委託の導入検討などを進めることとする。また、取り組みを進めるには地域住民等の理解は不可欠であるため、課題の認識共有を図るとともに、丁寧な意見聴取に努める。

(2) 旧花見川第五小学校跡地について

Q 旧花見川第五小学校の校舎跡地については、地域の活性化に資する有効な利活用がなされていないと感じるが、現在の活用状況と今後の利活用の方向性について問う。

A 屋内運動場とグラウンドは、平成22年度より施設運営委員会のもと地域開放施設として供用開始、校舎は耐震強度に問題があったため、平成25年度に解体され以降更地となっている。今後の利活用については、施設運営委員会からの要望書の内容も踏まえ庁内で検討を進める。

要望 校舎跡地は平成25年度以降空き地になっており、地域からも懸念の声が上がっている。入札等の手順も必要

【表面より続く】

と思うが、地域の要望に沿えるようスピード感をもった対応を望む。

(3) 旧花見川第三小学校跡地について

Q 旧花見川第三小学校跡地は、主要幹線道路・天戸町横戸町線に面しているうえ、令和9年度の県特別支援学校開校に向けてリニューアル工事が進められている旧花見川第二中学校跡地にも近く、活用方法によっては大きく地域活性化に貢献する可能性があると考えますが、現在の活用状況及び今後の利活用の方向性について問う。

A 校舎と屋内運動場は指定避難所に指定されており、屋内運動場は選挙時の投票所としても活用している。現在、老朽化が進んでいる花見川第二保育所、花見川消防署作新台出張所、花見川公民館の移転先のほか、バスの車両基地としての活用等を候補として検討している。地域住民とのコミュニケーションを図りながら理解を得られるよう調整を行う。

要望 花見川団地は入居開始後58年が経過、入居開始に合わせて整備された周辺の病院や商店も老朽化が進み、医療・介護施設の充足について不安の声も聞く。今後の跡地利活用検討にあたっては、花見川団地周辺の病院・介護施設等の民間事業者による利活用も視野に入れて、スピード感をもって進めていただくことを要望する。

2. 免許返納者への支援や対応について

Q 高齢ドライバーによる事故は報

令和8年第2回定例会 今議会の議案について

今定例会に提出された当初議案は、専決処分1件、補正予算案1件、条例案8件、一般議案1件の計11件で、そのほか請願2件、陳情2件が提出されましたが、陳情のうち1件は取り下げとなりました。

議案第76号の補正予算議案については、「国庫補助金の決定によるもの」として1,114,047千円計上され、内容は「街路整備」「橋梁維持」「交通安全施設整備」となります。「出産子育て支援」は「プレコンセプション健診費用助成」として11,100千円、「千葉開府900年記念事業」では「親子三代夏祭り」に7,500千円が計上されました。

議案第77号から第84号までの条例議案については、新アリーナの公共施設等運営権を設定するため、事業の実施方針に関する必要な事項を定めた「千葉市新アリーナの公共施設等運営権に係る実施方針に関する条例の制定について」、1年以上空家となっている住宅を除却した土地に係る固定資産税等の課税増額分について1年度分減免する「千葉市空家を除却した土地に係る固定資産税等の減免に関する条例の制定について」ほか、「千葉市客引き行為等の防止に関する条例の一部改正について」等でした。

議案第75号の専決処分は「千葉市市税条例の一部改正」、議案第85号の一般議案は「工事委託契約について(千葉市LED防犯街灯照明機器更新等包括業務委託)」であり、当初議案はすべて承認・可決いたしました。

請願第1号「サービス付き高齢者向け住宅における登録審査・指導監督及び関係部局連携体制の改善を求める請願」、請願第2号「市立中学校・特別支援学校の給食費無償化の実施及び給食水準の維持、充実を求める請願」はともに不採択となり、陳情第1号「千葉市における誰もが安心・安全に暮らせる街づくりに向けた、たばこ税を活用した環境整備等に関する陳情」は採択送付となりました。

また、最終日に上程された追加議案である、国の補正予算に伴う「物価高対策」の補正予算案及び、農業委員会委員・固定資産評価員・政治倫理審査会委員の新任・再任の人事案件はすべて可決・同意となりました。

道でも取り上げられており、反射神経の衰えによる操作の遅れ、ブレーキとアクセルの踏み間違え、赤信号の見落としなど、認知機能の衰えによる高速道路等の逆走など、大きな事故につながることも多く、75歳以上のドライバーには、免許更新時に「認知機能検査」「運転技能検査」等が課されている。

しかしながら、高齢ドライバーの事故が減少するには至らず、運転免許証の自主返納制度の周知が進められており、本市においても支援が進められていると聞く。

そこで、免許返納者及び高齢者に向けた、公共交通等による支援や対応について、また、今後の展開について問う。

A 平成25年度に、四街道市・千葉県警察・千葉県個人タクシー協会と「運転免許自主返納による交通事故の防止に関する協定」を締結し、千葉交通圏において千葉県個人タクシー協会に加盟するタクシーを利用した際、運賃を1割引きとする取り組みを始めた。

バスの割引制度としては、期間限定でのグループ内のバス運賃半額サービスや有効期限更新もできる同様のサービス、グループ内の路線バスが乗り放題となる高齢者向けの年間パスポートの販売を行っている。

モノレールや鉄道では、運転免許返納者対象の割引制度ではないが、平日日中や土休日に利用できるフリー切符を販売している。

運転免許返納者も含め、公共交通を利用しやすくするため、鉄道駅のバリアフリー化、バ

ス停へのベンチ設置、シェアサイクルサービスの提供ほか、交通事業者等との連携により、利用環境の向上に努めていく。

要望 鉄道・モノレールの割引制度があるに越したことはないが、免許返納者・高齢者の声を聞くと、「買い物に行く」「病院に行く」などの身近な移動手段が必要で、バス・タクシー利用への支援が重要と考える。さらには、交通結節点への移動支援も必要である。

免許返納については国や県にも関わることで、国・県への要望も進めるとともに、公共交通やニューモビリティ等移動方法を充実させ、免許返納者や高齢者の支援に結び付けたい。



だれもが遊べる広場オープン
神谷市長と



夜ハス・電飾ダンス